

ウェルおおさか

vol.126 2020.6 隔月発行(偶数月1日)

特集

理想の職場ってどんなところ？

～安心して働き続けるために～

● 図書・資料閲覧室からのお知らせ

● 講座案内



理想の職場ってどんなところ？

～安心して働き続けるために～

福祉現場では、人材の確保・育成・定着が最重要課題となっています。対人援助職は、ストレスを抱えやすく、心身の疲弊やバランス不調などで、休職や離職に至るケースが増えています。

職員のストレス軽減のためには、職場の人間関係を改善したり、労働環境をよりよく整備したりしていくことが、求められています。

今回は、自分らしく、安心して働き続けられる職場とはどんなところなのか、そのために必要なことについて考えてみたいと思います。



自分や職場環境を見つめる 時間をつくりましょう

疲れやすい、やる気が出ない、眠れない、人間関係の悩みが頭から離れない…など、仕事上のストレスなどから生じるメンタル不調は、誰にでも経験があるのではないのでしょうか。

とりわけ福祉職は、過重な仕事量もさることながら、「感情」を使って人に接する感情労働のため、ストレスを抱え込みやすいといわれています。ストレスがたまると、ケアの質の低下や虐待を引き起こす原因にもなります。

仕事をするうえでストレスは避けて通れません。しかし、過度なストレスを

軽減し、メンタル不調を防ぐことは可能です。個人の取り組みと組織としての取り組みの両面からアプローチすることで、ストレスとうまく向き合いながら、より働きやすい職場づくりを目指したいものです。

自分らしく、安心して働き続けていくためには、自分の気持ちを見つめ、また、職場環境についても考えてみる時間を持つことが大切です。気づいたことがあれば、職場で話題にしてみるのもいいでしょう。どんなに小さなことでも「気づき」は、解決に向けての第一歩です。

福祉職員のためのメンタルヘルス相談窓口(P.3参照)も大いに活用しましょう。一般の職員だけでなく、経営者や管理職も、気軽に相談できます。

■あなたは大丈夫？メンタルチェックしてみましょう！

- いらいらしてだれかにあたってしまう
- なかなか疲れが取れない
- やる気がおきない
- 不安になったり心配になったりして気持ちが安定しない
- 職場に行くのがつらい
- 気がつく、職場の仲間の輪から外れている
- 職場の人間関係がうまくいかない
- 毎日の業務に追われて、心のゆとりがない
- 自分だけが頑張っていると思う
- だれも自分のことを理解してくれない
- 常に仕事のことが頭から離れない
- 仕事のミスが増えてきた
- この仕事に向いていないのではないかと思う
- 自分の仕事に自信がもてない
- もっと利用者やその家族と良い関わりをしたいのにできない
- お酒、たばこの量が増えた

いくつあてはまりましたか？
一度、相談してみませんか？



前向きに考えて 職員とともに成長していきたい

社会福祉法人優心会
特別養護老人ホーム こうのと里



こうのと里ファンの証



▲介護係長 久保 紀子さん ▲施設長 北野 智傑さん

笑顔の原動力は?

こうのとりの施設内は、広々として明るくホテルのような雰囲気です。法人の理念「あふれる笑顔」がご利用者様・職員によって体現され、この雰囲気にひかれてか、就活で訪れた学生たちのほぼ100%が同法人への入職を決めるそうです。

「あふれる笑顔は、すべての事業のベース。一人の職員が笑顔になると、周りの職員も笑顔になります。職場に笑顔があふれると、ご入居者様もみな笑顔になる、そういう施設を目指しています」と施設長の北野智傑さん。多忙を極める福祉施設を「笑顔があふれる職場」にするために、どんな取り組みがなされているのでしょうか?

マンツーマンの指導で 新人の不安を軽減

同法人が人材育成をするうえで最も力を入れているのは、新入職員への対応です。

福祉の現場で働く職員には、さまざまなバックグラウンドがあります。新卒採用では、高卒、専門学校卒、大卒と学歴が異なり、中途採用では、異業種・異職種からの転職者も少なくありません。そこで、一人ひとりの個性や思いをていねいに扱い、経歴に合わせた個別の指導やフォローアップ体制を徹底しています。

1人の職員が入職したら、3カ月間は、責任者である1人のフロアマネージャーが、夜勤、日勤、休みのスケジュールを合わせてマンツーマンで指導します。指導を一本化することで業務理解への混乱を防ぐとともに、1人の先輩・上司に見守られている安心感を与えることができます。また、先輩との関係性が生まれ、先輩を通じて職場になじみやすいというメリットがあります。

定期的な面談で 気持ちを受けとめる

さらに、新入職員とは、頻繁に面談を行い、メンタルヘルス面での細やかな

サポートをしています。初めての面談は、入職2週間後。その後ひと月ごとに行い、半年でいったん終了。以降は、年に2回、全職員を対象に施設長が直接、面談します。

場合によっては家庭訪問をすることもあります。「モチベーションが下がっている職員がいたら、気にかけて、やりがいをもって働ける方法を一緒に考えます。お節介かもしれませんが、何があっても職員を見捨てることはありません」と北野さん。

このほか、メンタルヘルス相談役として、看護師と法人内他事業所の職員の2名が配置され、いつでも気軽に話ができるほか、必要に応じて心療内科等の産業医につないでいます。

内部研修で 職員の関係性を築く

働きやすい職場に欠かせないのが、職員同士の関係性です。

同法人では、毎月、部署の枠を越えて外部研修で学んだことを職員が発表する「フィードバック研修」を実施しています。

「1年続けるだけで、職員の態度は劇的に変化しました。発表は、全員に回ってきますので、最初は退屈そうにしていた職員も、しだいに他職員の発表に耳を傾け、『思いやり』を育む場になります」と北野さん。他部署の職員と交流するきっかけにもなっています。



▲毎月職員が発表する「フィードバック研修」

「否定されない環境」で 自主性を引き出す

関係性を築くためのユニークな取り組みが「こうのとりのファンクラブ」の活動です。職員による職員のためのクラブで、自分たちで職場づくりに向けたイベントを考え、アイデアを実現しています。

例えば、こうのとりの証であるピンバッジの作成、ボウリング大会と忘年会を合わせた『ボーボー大会』、新入職員歓迎会と全体的な懇親会を合わせた『ファンミーティング』の企画・運営、いずれも職員のアイデアで、法人内にいい影響を与えています。現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応に対するストレス解消のための「皿割企画」を検討中とのこと。福祉施設では敬遠されがちなことにも「どうすればできるか」を考え、本気で取り組んでいます。

働く人を代表して介護係長の久保紀子さんに法人の魅力をお聞きしました。

「常に新しいことや面白いことに挑戦していて、意見を受け入れてもらえるのがいいですね。なかには、入社1年目でも役職者として抜擢され、権限をもつことができるなど、想いを実現できます」

会議も、研修も、イベントも、個々の提案に対して「否定しない」のが大前提。その環境が職員の自主性を引き出しているようです。

「『できるかできないか』ではなく『やるかやらないか』。やらないよりも、失敗したとしても第一歩を踏み出すことが人を育てます。『実現させるためにどうするか』を一緒に考え、法人をあげてサポートします。もし失敗したとしても、個人で責任を負うのではなく法人として行うので、安心して取り組んでもらえます」と久保さん。

理念がぶれないように 継続的に理解を深めていく

「働きやすい職場はみんなで作るもの。職員の『夢』や『やりたいこと』を後押しできる環境をつくるのが経営者の役割」という北野施設長。ただし、気をつけているのは、それぞれの介護に対する価値観を否定しないこと。また、法人の理念がぶれないように、研修や実務を通し、継続的に理解を深めてい



▲新入職員も仲間入り「ファンミーティング」

くことです。

「離職者の数より、たとえ他の業界への転職であってもやりたいことを実現した職員の数がどれだけ増えたかのほうが大事。課題を探せば、キリがありません。マイナスより、プラスの側面に目を向けて、一緒に成長していきたいですね」

離職率ばかりが問題視される福祉業界。北野施設長は、目の付け所が違います。

DATA

社会福祉法人優心会
特別養護老人ホーム こうのとりの
大阪市平野区長吉川辺三丁目2番3号
☎06-6700-8000
FAX06-6700-8400



福祉職員のためのメンタルヘルス相談

疲れやすい、やる気が出ないなど仕事上のストレスから生じる悩みの相談窓口です。ご本人だけではなく、周囲にいる同僚や上司の方からのご相談も受け付けています。お気軽にお問い合わせください。



- **対象**／大阪市内在住または市内にお勤めしている福祉職員
- **相談方法**／電話または来所(まずは、ご予約ください)
- **相談日時**／毎週土曜日と第1・3水曜日 土曜日の場合は、祝日も実施
いずれも午前9時30分～午後4時(年末年始は休み)
- **相談員**／臨床心理士
- **相談場所**／大阪市社会福祉研修・情報センター 1階 相談室
- **相談料**／無料 「秘密厳守」ですので安心してご相談ください。
- **相談・予約電話**／☎06-4392-8639
- **出張研修**／大阪市内の社会福祉施設を対象としたメンタルヘルスに関する出張研修を行っています。当センターへご相談ください。
☎06-4392-8201
- **問合せ先**／大阪市社会福祉研修・情報センター
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
☎06-4392-8200 FAX06-4392-8206
✉k-kanri@shakyo-osaka.jp

個人の問題にせず、できるところからメンタルヘルスの体制づくりを

福祉職員のためのメンタルヘルス相談
相談員 臨床心理士
鈴木 博子さん

「人の役に立ちたい」思いが問題を潜在化させている

福祉職員からの相談は、業務内容、適性・キャリア、利用者への対応、職場の人間関係など内容はさまざまです。それらの悩みを誰にも相談できずに一人で抱え込んでいる方、上司に相談したけど職場の状況が変わらず解決に至らない方もいます。

福祉の職場は、介護職、保育士、ケアマネジャー、社会福祉士、精神保健福祉士など専門職で成り立っています。営業、事務、広報など仕事を分担して一つのプロジェクトを進める一般企業と異なり、専門職の集団であることも、組織によるメンタルヘルスの体制づくりが進みにくい背景の一つと考えられます。

また、福祉職員には、「人の役に立ちたい」という強い思いがあります。管理職もまた、同様の傾向にある場合が多いので、部下個人の熱意やケアの精神に頼ってしまい、バーンアウトを引き起こしてしまいます。こうした福祉職員にみられる特有の価値観が、問題を潜在化させているのかもしれない。

しかしながら、意欲をもって仕事に向き合える職場環境は、現場の職員

だけで作りあげられるものではありません。理事長や施設長クラスの管理職もメンタルヘルスケアの重要性を理解し、施設に関わる人たちが働きやすい職場をつくらうという意識をもって、メンタルヘルス対策の体制づくりを進めていくことが大切です。

研修を活用して職場で知識を共有する

厚生労働省が「労働者のストレスチェック」を義務化したことにより、数年前と比べると福祉業界でもメンタルヘルスに対する意識が高まってきました。しかし、職員個人で行う「セルフケア」研修が中心で、管理職向けの「ラインケア」研修に関する情報は、不十分なのが現状です。「ラインケア」とは、管理監督者が職場のメンタルヘルス対策で行うケアであり、日頃の職場環境の改善と把握や、部下の相談対応を行うことです。

私たち相談窓口の臨床心理士は、福祉施設などへ出向いてメンタルヘルスに関する出張相談も行っています。「セルフケア」や「アンガーマネジメント」などテーマに応じて、形式も講義、グループワークなど、柔軟に対応しています。

「メンタルヘルス対策はリスクマネジメントの最優先課題」ともいわれるなか、メンタルヘルスの知識を職場で共有することは、組織としては大きなメリットです。研修をきっかけとして、自分たちの職場環境について意見を出し合ったり、ディスカッションをしたりする場を設け、体制づくりにつなげていける機会になればと思い

ます。

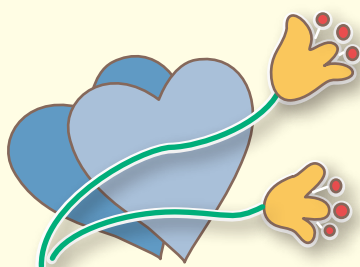
安心して働ける職場とは、働く目的も、働き方も人それぞれ、一人ひとり異なるため皆さん違うと思います。異なる考えや価値観を持つ人たちが共に働き、より良いケアを提供していくために、職員がどうしたいかを主体的に考えられるように管理職が環境を整備することが大切です。

症状が出る前に相談してほしい

最後に「セルフケア」についてお話します。セルフケアでは、自分で心身の緊張といったストレス反応に気づき、呼吸法やストレッチ、睡眠、好きなことなどで、ストレスの解消を目指します。

「ケアする仕事の人は、自分のケアが後回しになりがち」だということ。福祉職員の人たちが誰かの役に立とうとする時、自分も誰かに助けられたり、お世話になった経験が最も生きるのではないかと考えています。誰もが日々そうやって今日まで生かされてきたことを思い、自分をいたわってもらえたらと願っています。

悩みを身近な人に話しても改善しない場合、眠れないなど症状が出る前に相談してください。話せば考えがすっきりしたり、気持ちが落ち着いたりするはず。また、悩みでなくとも「自分のことを知りたい・深めたい」ときも、気軽に訪ねてください。特に、重責を担う経営者や管理職は、部下の対応に悩んで、バーンアウトする例もあるので、そうなる前にぜひ、相談窓口を頼ってほしいと思います。



第14期 市民後見人養成講座の 受講生募集について

大阪市成年後見支援センターでは、社会貢献に意欲をお持ちの市民を対象に、後見人として必要な知識等を身につけていただく「市民後見人養成講座」を開催します。

大阪市内在住または在勤の方で、市民後見人の活動に興味を持つ方を募り、成年後見制度の仕組みや大阪市の福祉行政、後見人事務を学んでいただきます。基礎講習終了後、引き続き実務講習、施設実習を行い、修了された方には修了証を交付するとともに、実際に市民後見人として活動可能な方に「大阪市民後見人バンク」にご登録いただきます。その後、大阪家庭裁判所により成年後見人として選任されると、市内での活動が始まります。

成年後見制度、市民後見人活動について知っていただき、地域福祉の担い手として活動していただくために、ぜひ本講座の受講をよろしくお願いいたします。

1 応募資格 次のすべてに該当する方

- ①年齢24歳以上68歳以下の方（令和2年3月31日現在）
 - ②大阪市内在住または在勤の方
 - ③成年後見制度及び福祉活動に理解と熱意のある方
 - ④社会貢献に意欲をもち、後見人になろうと考える方
（後見業務の養成研修を実施する団体*に所属している方、または親族以外の方の後見人として活動している方を除く）
 - ⑤大阪市民を対象とした後見活動をできる見込みのある方
 - ⑥原則としてすべての講座に参加できる方
- *後見業務の養成研修を実施している団体例
- ・司法書士会 ・社会福祉士会 ・精神保健福祉士会
 - ・行政書士会 ・税理士会 ・社会保険労務士会
- ※その他、NPO法人で市民後見人養成研修を実施しているところがあります。
NPO法人に所属されている方は、所属している法人に確認をお願いします。

2 受講者通知

「市民後見人養成講座（基礎講習）受講申込書」を受付け次第順次、受講票を送付いたします

3 基礎講習の内容

【北コース】大阪市役所 【南コース】大阪市社会福祉研修・情報センター

日程	時間	科目	内容
【北コース】 7月9日(木) 【南コース】 7月4日(土)	9:45～	開講式	開講のあいさつ
	10:00～12:00	①社会福祉の動向と権利擁護 －市民後見人の背景と理念－	地域福祉や権利擁護の動向と理念を理解し、市民後見人に期待される役割を認識する
	13:00～16:00	②成年後見制度の基礎と人権	成年後見制度（法定後見・任意後見）の概要と後見人の職務を、人権との関わりの中で理解する
【北コース】 7月16日(木) 【南コース】 7月11日(土)	10:00～11:30	③成年後見制度利用開始までの流れ	法定後見を中心に申立てから開始までの流れを学ぶ
	12:30～14:30	④後見人の職務(1)	財産管理及び身上の保護についての実務を学ぶ
	14:30～16:00	⑤対象者の理解(認知症高齢者)	認知症高齢者の特性・接し方を学ぶ
【北コース】 7月22日(水) 【南コース】 7月18日(土)	10:00～12:30	⑥福祉サービスと社会資源	福祉サービス全般について学ぶ
	13:30～16:00	⑦対象者の理解(障がい者)	知的障がい者の特性・接し方を学ぶ 精神障がい者の特性・接し方を学ぶ
【北コース・ 南コース合同】 大阪市社会福祉 研修・情報センター 8月1日(土)	10:00～12:00	⑧後見人の職務(2)	市民後見人と専門職後見人の実際の活動内容を聞き、後見人の職務についての理解を深める
	13:00～16:00	⑨事例検討とまとめ	グループワークによる事例検討を通じ、後見活動の実践的視点を学ぶ 次期の実務講習について

(時間は若干変更になる可能性があります) ※コロナウイルスの感染拡大に伴い、当初の予定から南コースの1日目、2日目の日程を変更しております。ご確認をお願いします。なお、今後の情勢によっては、日程の延期や中止、会場の変更を行う場合があります。

4 申込み方法

受講希望の方は、受講生募集要項を成年後見支援センターのホームページに掲載していますので、内容をご確認いただき、受講申込書に必要事項を記載のうえ、6月12日(金)までに郵送(当日消印有効)、ファックスまたはメール(申込書を添付)により下記までお申し込みください。なお、募集要項の郵送をご希望の方はご連絡をお願いします。

申込み・
問合せ先

大阪市成年後見支援センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号
大阪市社会福祉研修・情報センター3階 ☎06-4392-8282 FAX06-4392-8900
http://www.welosaka.jp/kouken/ yousei@shakyo-osaka.jp





感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に

・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつき、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗います。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う



何もせずに
咳やくしゃみをする

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を
確実に覆う

2 ゴムひもを
耳にかける

3 隙間がないよう
鼻まで覆う



咳やくしゃみを
手でおさえる



■ 詳しい情報はこちら

厚労省

検索



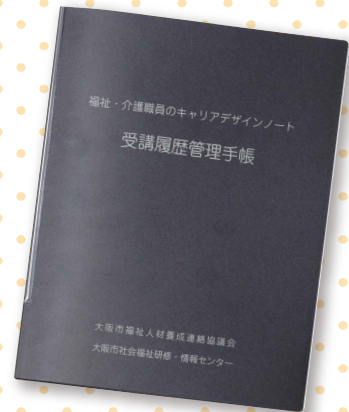
出典:首相官邸HPより

福祉・介護専門職の キャリアアップをサポート!

福祉・介護職員の キャリアデザインノート 受講履歴 管理手帳

定価 600円(税込)

これ1冊に
受講履歴を
ファイリング。
修了書や研修資料を
まとめて
保存できます!



福祉援助職として、プロフェッショナルの力を高めるため、生涯にわたる学びを指し示す「大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図」と、これまでの研修受講が記録できるシートがセットになった「福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳」を販売しています

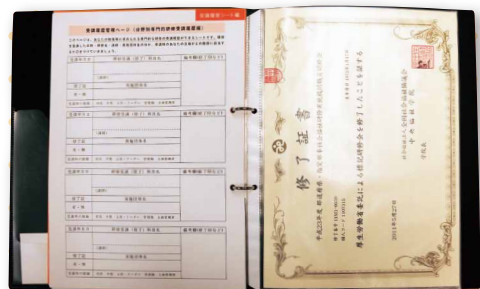
(内容)

- A4判・リングファイル ● 人生カレンダー
- キャリアデザインシート(ワークシート編) 2ページ
- 大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図
- 受講履歴管理ページ(受講履歴シート編) 9ページ
- ビニールファイル4枚

発行者: 大阪市福祉人材養成連絡協議会 大阪市社会福祉研修・情報センター

問合せ・申込み先: ☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272

✉ kensyu@shakyo-osaka.jp



講座案内

**新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
こちらの研修につきましては、次の措置を講じたうえで実施する予定です。**

- 研修中は常に換気を行うこと
- 参加者間の距離を2メートル以上確保し、お互いの接触は避けること
- 演者等と聴衆との距離を5メートル以上離し、お互いの接触は行わないこと
- マスク着用の徹底及び消毒液を常備し、手に触れる箇所の消毒に努めること
- 後日、状態を確認できるようにするため、参加者の氏名、連絡先を取得すること

※ただし、今後の臨時休館の取扱状況によっては、中止又は延期する場合があります。ご理解いただきますようお願いいたします。

令和2年5月18日現在

福祉従事者向け研修 申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日時	受講対象者	講師	内容	その他	
【キャリアパス研修】	初任者コース	8月7日(金)・ 9月3日(木)・ 4日(金) 10:00~17:00	大阪市内の社会福祉関係施設・事業所に勤務するおおむね2年未満の職員	関西福祉科学大学 教授 橋本 有理子 講師 種村 理太郎 京都西山短期大学 講師 西川 友理	新任職員としての役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する	定員:27人 締切:6月26日(金) 受講料:9,000円 +テキスト代
	チームリーダーコース	8月6日(木) 9月8日(火)・ 17日(木) 10:00~17:00	大阪市内の社会福祉関係施設・事業所に勤務するおおむね5年以上の業務経験を有する ・近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される職員 ・主任・係長等に就いている職員	大阪教育大学 特任教授 新崎 国広 聖和短期大学 准教授 立花 直樹	チームリーダーとしての役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する	定員:27人 締切:6月30日(火) 受講料:9,000円 +テキスト代
社会福祉の基本と 対人援助	7月10日(金)・ 8月21日(金) 10:00~16:30	大阪市内の社会福祉関係施設・事業所に勤務する方	同志社大学 教授 小山 隆	福祉従事者に求められる基本視点、知識を学び、専門職としての役割行動を理解し、利用者へのサービス向上を図る	定員:27人 締切:6月12日(金) 受講料:6,000円	
【組織運営・管理研修】	心をつなぐ コミュニケーション	8月 5 日(水) 8月26日(水) 10:00~16:30	大阪市内の社会福祉関係施設・事業所に勤務する方	TEAM EXE 代表 パフォーマンスアップ コーチ ナカムラ トモコ	プライベート、チームや組織などでの場面でも信頼関係を築いていくために、コミュニケーション技術を磨くことを目的とする	定員:各20人 締切:7月3日(金) 受講料:各3,000円

※日程及び締切日などは、主催者の都合で変更する場合があります。

● **福祉従事者向け研修の申込み方法** ▶当センターのホームページから申込み、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

上記の会場・申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

FAX06-4392-8272

🌐http://www.wel-osaka.jp

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

図書紹介

「遠距離介護で自滅しない選択」

太田 差恵子 著
日本経済新聞出版社 2019年

仕事や家庭生活との両立は困難を極め、ときに離職を迫られることもある「遠距離介護」。どうすれば“自滅”せずに両立できる？ 遠距離介護予備軍の人、遠距離介護中の人が知っておくべき実用的な情報を紹介。



「絵本がつなく 高齢者と子どもたち」

森本 ちか 著 くもん出版 2020年
「本読み会」は、絵本をとおして子どもたちと地域の人たちが幸せに包まれる空間です。子どもたちの心を育て、お年寄りを元気にし、地域のコミュニティづくりにも貢献できる活動を紹介。



「介護職員処遇改善加算取得・活用ハンドブック」

三島 幹雄・小宮山 伸 著
日本法令 2020年

介護職員等特定処遇改善加算(特定加算)と介護職員処遇改善加算(処遇改善加算)を受けるための諸要件を“実際に使える仕組み”として構築し、介護職員の育成・定着に活用するためのテクニックを紹介。



「民生委員活動の基礎知識」

小林 雅彦 著
中央法規出版 2020年

活動の中で生じる疑問、住民から寄せられる相談、地域社会で対応が求められる課題等を取りあげ、Q&A形式で各項目をコンパクトにまとめている。すばやく問題に対応するために、活用していただきたい入門書。



DVD紹介

「ソーシャルワーカーの一日」

株式会社BBB
2018年

ソーシャルワーカーは医療施設や福祉施設、行政機関など、さまざまな場所で活躍している。どの職場でも業務内容は多岐に渡り、一日のスケジュールもばらばらということが多く。打ち合わせなどの内勤の日もあれば、利用者を訪問するなど、外勤ばかりの日もある。それぞれの違う職場環境で働くソーシャルワーカーの業務内容を紹介します。



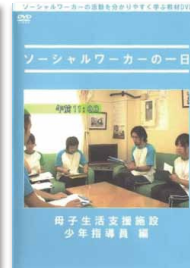
医療編 26分



社会福祉協議会編 26分



地域包括支援センター編 17分



母子生活支援施設 少年指導員編 22分

「彼らが本気で編むときは、」

ソニー・ミュージックマーケティング
127分 2017年

優しさに満ちたトランスジェンダーの女性リンコと、彼女の心の美しさに惹かれ、すべてを受け入れる恋人のマキオ。そんなカップルの前に現れた、愛を知らない孤独な少女トモ。桜の季節に出会った3人が、それぞれの幸せを見つけるまでの心温まる60日。



「腰痛はもう怖くない 3秒から始める腰痛体操」

NHKエンタープライズ
本編32分 特典17分 2016年

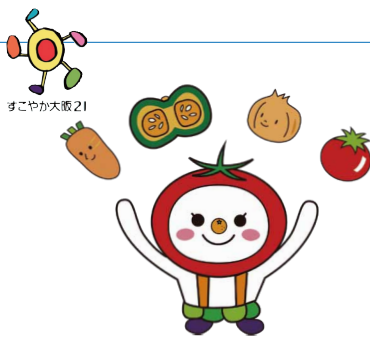
日本人のおよそ4人に1人が悩んでいると言われる「腰痛」は、体操などのセルフケアによって、改善・予防することができる。3秒から始められる「これだけ腰痛体操」と、それを応用した目的別の体操を紹介。



大阪市社会福祉研修・情報センター2階にある「図書・資料閲覧室」では、社会福祉に関する書籍などを無料で貸し出しています(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉関係雑誌などが充実しています。)



- 図書・約18,000冊 ●DVD・約940本 ●雑誌・約27種類
- 開室時間 月曜日～土曜日(祝日、年末年始は除く)午前9時30分～午後5時
- 貸出期間 2週間(図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで)
- 利用資格 貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能な方
- ※郵送での返却はできません
- ※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類(免許証・保険証など)をご持参ください
- 問合せ先 ☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



かしこく食べよう！
ゲンキをつくろう！
6月は食育月間です
「野菜を食べよう」

野菜摂取量の増加は、健康寿命の延伸と生活習慣病のリスク低下のための重要な要素です。大阪市民の野菜摂取量は245.9gで、国が定める目標350g(健康日本21)に約100g足りません。また、大阪府が平成27年に行った調査では、若い世代ほど野菜摂取量が少なく、飲食店等を利用し外食をする機会が多いほど野菜不足の傾向がありました。

野菜摂取量の増加のために、外食するときのメニューの選び方に注意し、「野菜の小鉢がついた定食等を選ぶ」「単品(めん類のみ・どんぶりもののみ)だけではなく、サイドメニューを追加する」等の工夫をしましょう。

また、大阪市では「野菜をたくさん食べることができる飲食店等」の登録制度【やさしいTABE店事業】を6月1日からスタートします。外食する際のお店選びの参考にしてください。

やさしいTABE店

検索

問合せ▶大阪市健康局健康推進部健康づくり課 ☎06-6208-9961

あなたのお口は健口(けんこう)ですか？

歯周病は、気付かないうちに徐々に進行していくことから「沈黙の病気」とも言われており、成人期以降に歯を失う一番の原因になっています。また歯周病は、肥満、心疾患、脳梗塞など、全身の健康と関連があることが分かっています。

自分の歯でおいしく食べられることは人生の楽しみのひとつです。歯周病にならないようにするために、定期的に歯周病検診を受けましょう。

■大阪市で受けることができる歯周病検診

●歯周病検診(問診・口腔内診査)

対象 40・45・50・55・60・65・70歳

(昭和25・30・35・40・45・50・55年の1/1～12/31生まれ)の大阪市民

費用 500円(生活保護世帯・市民税非課税世帯の方は無料)

場所 市内取扱歯科医療機関(要予約)



大阪市では歯周病検診以外の検診も実施しています

種別 胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診

対象等 対象者や費用等がそれぞれ異なりますので、詳しい内容は下記までお問い合わせください。

問合せ▶大阪市健康局健康づくり課 ☎06-6208-9907

今月の自助具
皿ガード(スライド式)

主な適応疾患・対象者▶

- 片手が不自由な方

機能・特徴▶

- 食べ物残渣に合わせ、皿ガードをスライドさせることで、スプーンなどで食品を捉えやすい位置を自在に選ぶことができる。

使い方▶

- ステンレス製のクリップを皿の縁に挟む。
- アクリル板のガード部は、食べ始めはスライド位置の一番上の部分に近づけて使用する。
- 食べ物が少なくなってくれば、ガード部を徐々に中央部分にスライドさせて、スプーンなどで食べ物を掬いやすくする。



資料提供・問合せ▶特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎06-4981-8492 (月・水・金 10:00～15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活
応援グッズ

外出を楽しく安全に

コンパクトで軽量
歩きやすいワイド仕様



●ヘルシーワンW オム

体をスッポリ支え、楽な姿勢で歩行をサポート。簡単な操作でコンパクトに折りたためます。そのほか様々な機能で外出をサポートします。

福祉用具はもつと格好よく
スマートであっていい



●サンティノ

小さく折りたためる構造なので、玄関や乗り物でも邪魔になりません。片手で持ち運べる軽量設計でありながらも高いフレーム剛性を実現し、ハンドルのがたつきが少ない。

B
O
X
タイプ
の
歩
行
車



●シンフォニーラクーン

バッグ載荷重10kgの買い物などに便利なBOXタイプの歩行車です。かご受けを使用すると、座面に買い物かごを載せることが可能です。

問合せ

公益社団法人

関西シルバーサービス協会 事務局

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

大阪社会福祉指導センター内

☎06-6762-7895 ㊚06-6762-7894

http://kansil.jp

大阪市のモデル事業「介護の職場 担い手創出事業」

～新たな人材「アシスタントワーカー」～

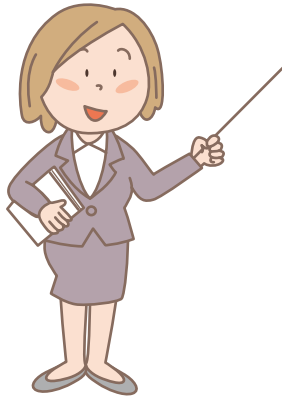
厚生労働省の推計によると、令和7年度(2025年度)における福祉・介護の現場では大阪府でも3万4千人の人材不足が発生すると見込まれており、福祉・介護人材の確保は喫緊の課題となっています。

大阪市では、人材確保に向けた2020年度の取り組みとして、モデル事業「介護の職場 担い手創出事業」を実施し、当センターが事務局として事業を進めています。

本事業では、住吉区に所在する3事業所の協力のもと、現在、介護職員が担っている機能(業務)を整理し、新たな人材『アシスタントワーカー※』を導入することによる効果(多様な人材の参入、介護職の専門性の発揮 など)の検証を行います。

※アシスタントワーカー…介護施設でのベッドメイキング、食事の配膳等の軽作業のみを担うスタッフ

「アシスタントワーカー」の導入で期待される効果



アシスタントワーカー

- ・施設の近隣にお住いの子育て層や元気な高齢者が参入
- ・福祉専門職への第一歩
- ・地域と施設との繋がり強化



採用担当者

介護職員以外にも選択肢が増え、求人活動の負担を軽減



専門職

- ・専門性を発揮できる環境
- ・利用者支援の質が向上
- ・離職防止(職員の定着)にもつながる

次号では、モデル事業所での取り組みについてご紹介いたします。

確保
(職員採用)

「介護施設でのベッドメイキングなど軽作業」
専門職と区別した職員募集

「アシスタントワーカー」

「アシスタントワーカー」が行う仕事を限定
専門職と区別した業務分担

活用
(業務内容)

介護の仕事の中にも自分ができそうな業務がある!



専門的なことは専門職におまかせ!

カタチにするプロ

パンフレットやカタログなど、作りたいものがカタチにならず困っていませんか?
当社なら企画から取材・撮影・デザイン・印刷・納品にいたるまで、各専門スタッフが、お客様のイメージをトータルでカタチにします。

※詳しくは下記までご連絡ください。



〒530-0045 大阪市北区天神西町8-19 法研ビル5F
TEL:(06)6362-1511(代) FAX:(06)6362-1510 E-mail:info@ad-emon.com
<http://www.ad-emon.com>

[広告]

大阪市社会福祉研究 第43号 「研究論文」及び「実践報告」募集

年刊研究誌「大阪市社会福祉研究」では、市内で社会福祉の実践を行っている団体、グループ及び個人が自発的に研究活動を行い、その成果をまとめた「研究論文」及び「実践報告」を募集しています。

【募集範囲】

- ①大阪市社会事業施設協議会に加盟する各施設の職員
- ②大阪市社会福祉協議会及び各区社会福祉協議会の職員
- ③大阪市福祉局・子ども青少年局及び各区保健福祉センターの職員
- ④大阪市内で社会福祉の実践を行っているグループ、個人などで大阪市社会福祉研修・情報センター所長が認める者

※いずれも、個人による研究のほか、グループによる共同研究・執筆も可とします。

【原稿内容】

- ①テーマは「社会福祉」の範囲とします。
- ②研究論文、研究ノート、実践報告等、福祉の実践のうえで生起する諸問題について、その解決のための示唆や方向づけを与えるものとします。
- ③原稿は、未公開(未発表)のものに限ります。

【原稿字数】

参考文献・図表等も含め、18,400字以内(パソコンで作成された原稿)とします。

【応募方法】 ※期間を延長しました。

所定の応募用紙により、6月30日(火)までに下記センターへ「応募用紙」をお送りください。原稿の締め切りは7月27日(月)とし、提出論文から編集委員会にて掲載論文を選定し、掲載候補となったものについて、あらかじめ「執筆依頼」を送付します。

【その他】

- ①「大阪市社会福祉研究」への提出論文については、政治的・宗教的活動に使用しないこととします。
- ②「大阪市社会福祉研究」に掲載された論文及び実践報告について審査し、優秀と認められた場合に、同心会より研究奨励賞、研究努力賞、会長賞が授与されます。
※「応募用紙」は、ホームページのお知らせ欄よりダウンロードできます。

●申込先・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20 電話06-4392-8201 06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp 06-4392-8272

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・ 情報センターのご案内

開館時間 / 午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)

図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで(月～土曜日)

休館日 / 国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	午前9時～午後9時(土・日曜日は午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	午前9時～午後5時

貸室ご利用の皆様へ

1 空室状況をホームページに掲載しています。

空室状況は、ホームページの「貸室のご案内」→「空室一覧」に、PDFで6か月分掲載。

ウェルおおさか

2 利用申込の受付は6か月前からです。

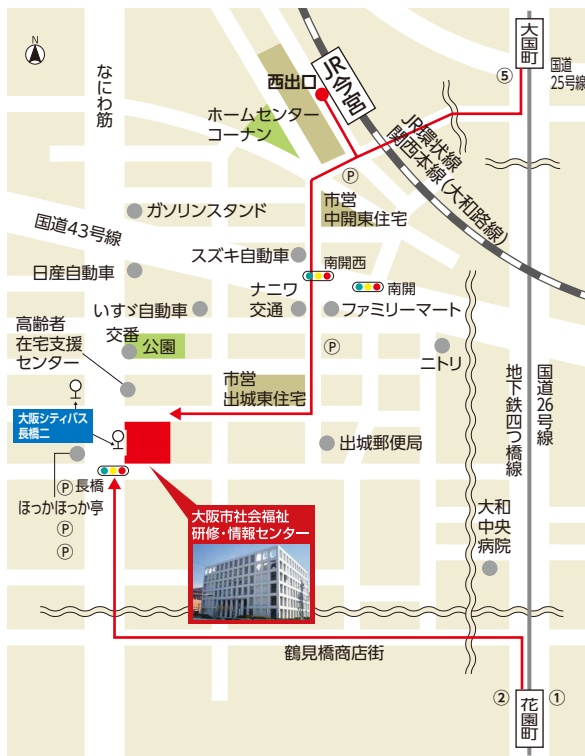
利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、電話や窓口で予約いただいたうえ、所定の用紙で申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎06-4392-8200

FAX06-4392-8206

※FAXでの申し込み可能な期間は、利用日の6か月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。



■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	昼夜間
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

(単位:円)

交通 / ご来所には【大阪シティバス】【JR】【地下鉄】をご利用ください

大阪シティバス
「長橋二丁目」バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

JR大阪環状線・大和路線
「今宮」駅から徒歩約9分

地下鉄・四つ橋線・御堂筋線
「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分
「大国町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地 / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号
設置主体 / 大阪市
運営主体 / (指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
電話 / ☎06-4392-8200(代表)
ファックス / FAX06-4392-8206
URL / http://www.wel-osaka.jp

Facebookもチェック



「ウェルおおさか」に広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください ▶ 大阪市社会福祉研修・情報センター
☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

人権啓発キャッチコピー

〔テーマ〕いじめ問題

気付いてあげて いつもと違う その笑顔

津志田 葵さん(令和元年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 中学生の部 佳作)